

東北地方 1 か月予報

(1 1 月 6 日から 1 2 月 5 日までの天候見通し)

平成 1 6 年 1 1 月 5 日

仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

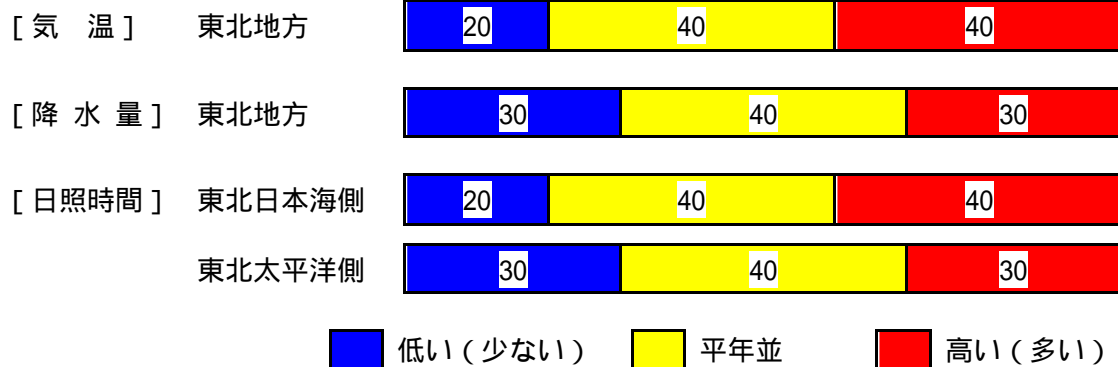
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

低気圧が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年に比べ曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

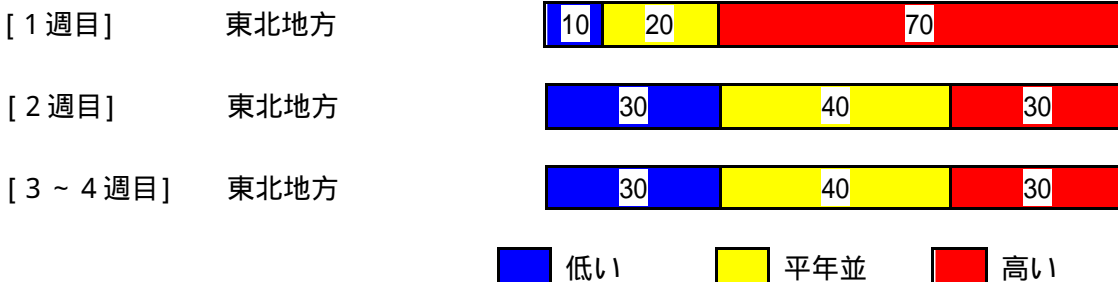
向こう 1 か月の平均気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は東北日本海側で平年並が多い、東北太平洋側で平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目は高い、2 週目は平年並、3 ~ 4 週目は平年並でしょう。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 1 1 月 6 日 (土) ~ 1 2 月 5 日 (日)
1 週目 : 1 1 月 6 日 (土) ~ 1 1 月 1 2 日 (金)
2 週目 : 1 1 月 1 3 日 (土) ~ 1 1 月 1 9 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 1 1 月 2 0 日 (土) ~ 1 2 月 3 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 1 1 月 1 2 日
3 か月予報 : 1 1 月 2 5 日 (木) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	7.4	94.0	136.6	9.5	8.1	6.3
新庄	5.4	199.1	55.3	7.5	6.2	4.3
若松	6.0	76.6	83.4	8.4	7.0	4.8
深浦	6.5	150.3	60.6	8.8	7.3	5.4
青森	5.5	133.8	80.6	7.8	6.3	4.3
むつ	5.3	115.4	96.6	7.5	6.1	4.2
八戸	5.7	56.2	132.1	8.0	6.5	4.6
秋田	6.7	189.6	74.2	9.0	7.5	5.6
盛岡	4.8	89.8	111.8	7.0	5.5	3.6
宮古	6.9	78.0	145.5	9.0	7.7	5.8
酒田	8.1	232.7	70.2	10.2	8.9	7.0
山形	6.3	78.8	93.9	8.5	7.1	5.1
仙台	8.2	58.6	138.7	10.4	9.0	7.1
石巻	7.4	58.4	147.2	9.7	8.2	6.2
福島	8.1	57.8	128.0	10.3	8.9	6.9
白河	6.7	59.3	147.7	9.0	7.5	5.5
小名浜	9.9	81.4	163.0	12.0	10.7	8.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6～+0.7	80～ 107	95～ 105
東北日本海側	-0.5～+0.7	89～ 106	95～ 105
東北太平洋側	-0.6～+0.7	68～ 106	95～ 106

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6
東北日本海側	-0.6～+0.7	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.6	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 %以下や 60 %以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 16 年 11 月 5 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (11 月 6 日 ~ 12 月 5 日):

低気圧が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年に比べ曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
平均気温は平年並か高いでしょう。

1 週目 (11 月 6 日 ~ 11 月 12 日):

明日 (6 日) と期間の終わりは、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の降る所がありますが、その他の日は高気圧に覆われて概ね晴れるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

2 週目 (11 月 13 日 ~ 11 月 19 日):

低気圧が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3 ~ 4 週目 (11 月 20 日 ~ 12 月 3 日):

低気圧が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

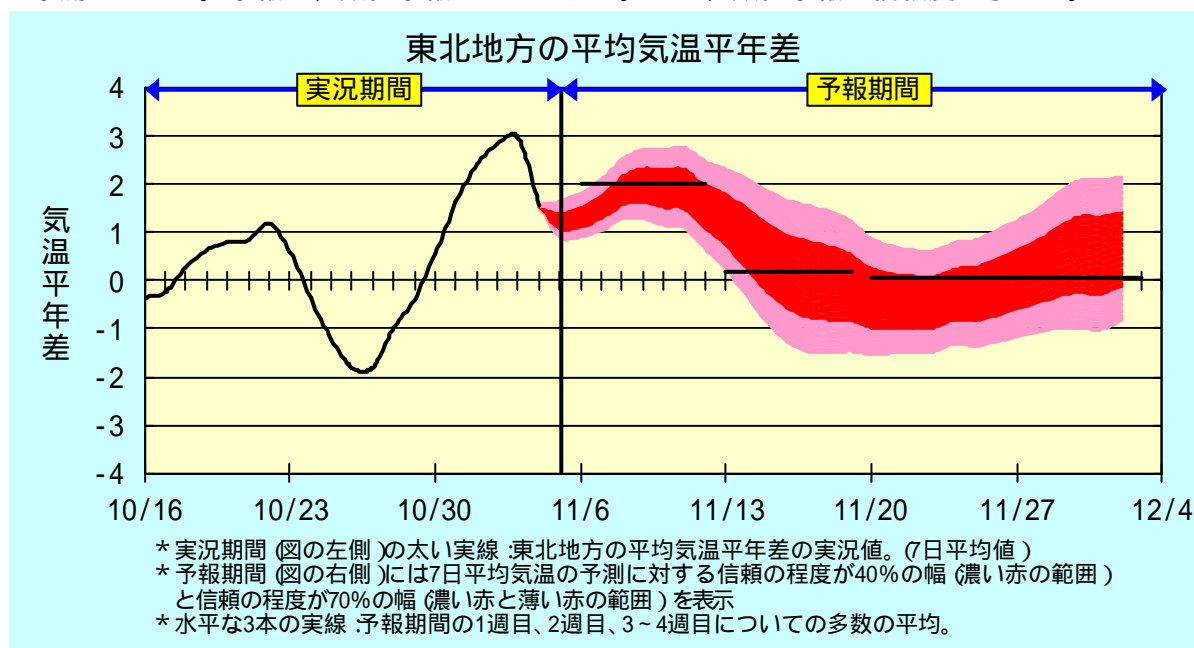
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
東北日本海側	7.5 日	2.5 日	1.8 日	3.2 日
東北太平洋側	16.4 日	4.2 日	3.9 日	8.3 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目を「高い」、2 週目を「平年並」、3 ~ 4 週目を「平年並」と予測している。予報は、数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は小さい。

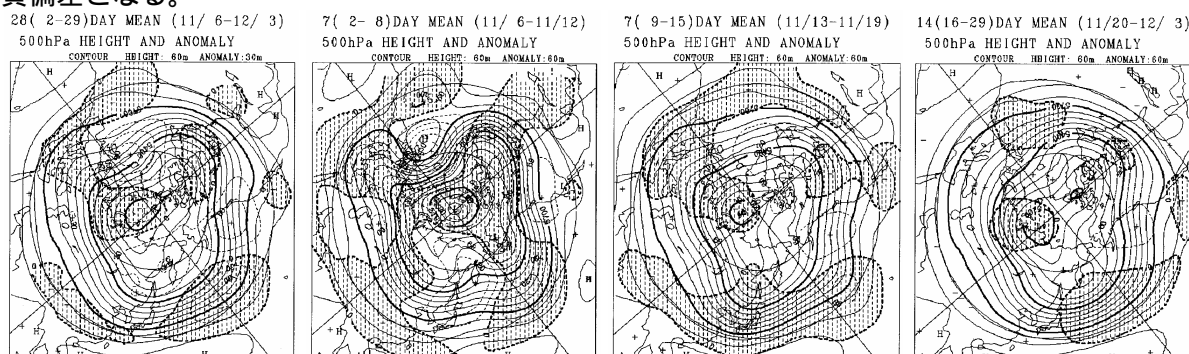


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近や日本の西や東には負偏差が広がるが、日本付近は東シベリアに中心を持つ正偏差に覆われる。偏西風の流れは順調で、低気圧は数日の周期で通過する。ただし、1 週目にヨーロッパや極東等で偏西風の蛇行が大きく、2 週目以降の予想はバラツキが大きい。

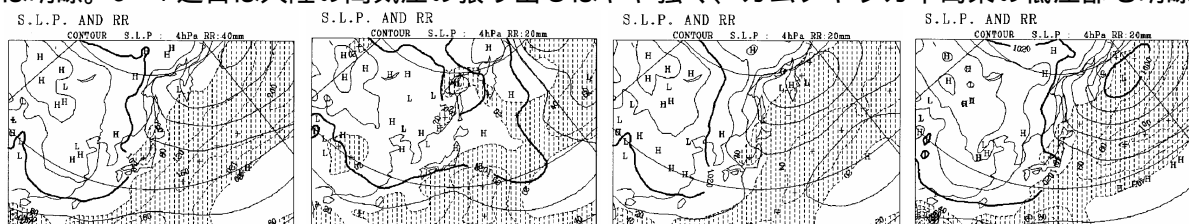
1 週目は、日本付近はオホーツク海に中心を持つ正偏差に覆われる。2 週目は、日本付近は大陸から太平洋に広がる負偏差に覆われる。3～4 週目は日本付近は正偏差となるが、日本の東海上は負偏差となる。



地上気圧と降水量：

月平均では、大陸の高気圧の張り出しは平年並だが、カムチャツカ半島東の低圧部は平年より弱い。日本付近の等圧線の間隔はまだまだばらで、低気圧は数日の周期で通過する。日本海側には降水域がかかる。

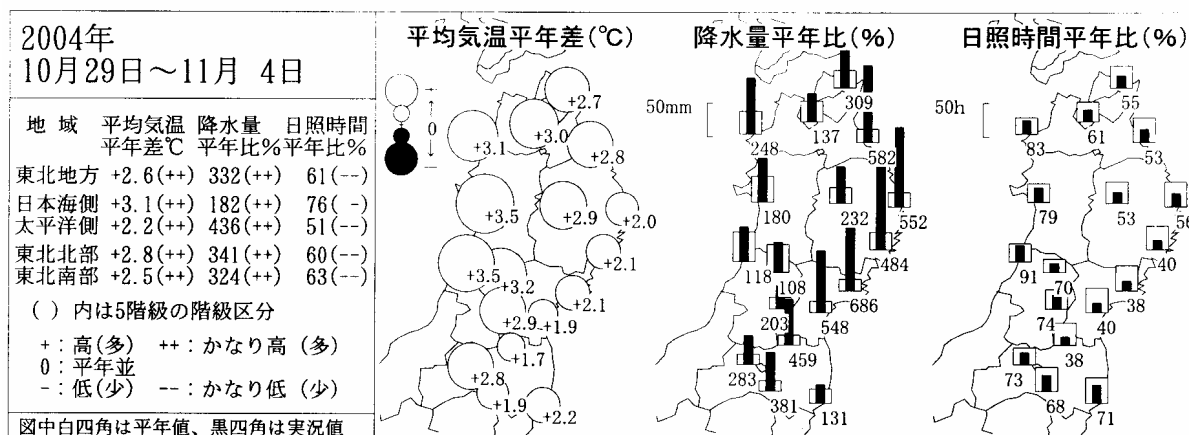
1 週目は日本付近が高圧部となるが、本州南岸には降水域がかかる。2 週目以降は冬型の気圧配置となる。ただし、2 週目は大陸の高気圧の張り出しは弱い、カムチャツカ半島付近の低圧部は明瞭。3～4 週目は大陸の高気圧の張り出しはやや強く、カムチャツカ半島東の低圧部も明瞭。



4. 最近 1 週間（10 月 29 日～11 月 4 日）の天候の経過

期間の初めは高気圧に覆われ晴れたが、その後は本州南岸を進んだ低気圧や、日本海の動きの遅い低気圧の影響で、曇りや雨の日が続いた。特に、3～4日は上空の寒気の影響で各地で雷雨となった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）